

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象										2 受診率(マンモ+視触診)						
	隔年	毎年	マンモ+視触診	対象	マンモのみ	対象	視触診のみ	対象	エコー+視触診	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較
1	○		○	40歳以上の 偶数年齢女性 41歳以上の 奇数年齢で 昨年度区の乳がん 検診未受診者									10,176	539	1,253	392	1,400	13.8%	未満
2	○		○	40歳以上女性 隔年									22,520	1,445	1,469	0	2,914	12.9%	未満
3	○ マンモ + 視触診	○ 視触診 のみ (30~39歳)	○	40歳以上 偶数年齢女性			○	40歳以上 奇数年齢 30~39歳女性					43,074	2,856	3,553	1,998	4,411	10.2%	未満
4	○		○	40歳以上 偶数年齢女性									64,553	4,616	4,233	299	8,550	13.2%	未満
5	○		○	40歳以上 偶数年齢女性									41,782	1,491	2,311	238	3,564	8.5%	未満
6	○ マンモ + 視触診	○ 視触診 のみ	○	40歳以上女性 前年度未受診者			○	30歳以上女性 毎年					39,102	1,001	2,853	0	3,854	9.9%	未満
7	○		○	40歳以上女性 2年に1度									53,234	1,579	2,087	0	3,666	6.9%	未満
8	○		○	40歳以上 偶数年齢女性									95,714	11,805	11,296	0	23,101	24.1%	以上
9	○ マンモ + 視触診、 エコー併用	○ 視触診 のみ	○ マンモ + 視触診、エコー 併用	34~70歳 偶数年齢			○	71歳以上					マンモ+視触診、 エコー併用 74,402	3,080	4,204	0	7,284	9.8%	未満
10	○		○	40歳以上女性 2年に1度									58,153	3,247	4,098	0	7,345	12.6%	未満

区市町村 (No)	2 受診率(視触診のみ)							2 受診率(エコー+視触診)							分析	対策1	
	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
1															・年齢階級、地域によって、受診率に 違いはない。		
2															・年齢階級、地域によって、受診率に 違いはない。		
3	43,074	7,670	8,436	5,089	11,017	25.6%	以上								・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級 がある。	・他の年齢層も含め受診勧奨(受診券)の個別発送を 継続。がん検診の啓発チラシを同封する。	・受診勧奨に対する経費補助。
4															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級 がある。	・受診率を年代別に算出し、特に受診率が低いと見ら れる年代には受診勧奨を行う。 ・受診勧奨ハガキの送付対象者を従来(40～75歳の 5歳刻み)よりも拡大する。	
5															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級 がある。	・40歳の女性に対して検診受診の勧奨ハガキを送付 する。	
6	39,102	0	404	0	404	1.0%	未滿								・年齢階級、地域によって、受診率に違 いはない		
7															・年齢階級、地域によって、受診率に違 いはない		
8																	
9	74,402	0	2,041	0	2,041	2.7%	未滿								・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級 がある。	・対象者全員への個別通知。 ・定員枠の拡大。 ・検診機関の拡大。 ・普及啓発も入れた分かりやすい検診案内。	
10															・年齢階級、地域によって、受診率に違 いはない		

区市町村 (No)	対策2		(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)						3 要精検率 (マンモ+視触診)			3 要精検率 (視触診のみ)			3 要精検率 (エコー+視触診)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	年齢階級 別	受診者別 データ	検診機関 別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記 録	2年連続受 診者の集 計	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較
1	・実施医療機関を増やし、受診しやすくする。 ・自己負担金を無料にする。				○	○	○		○	○	185	14.8%	高い						
2	・検診場所及び検診時間帯等の拡大を行い、受診しやすい体制整備を図る。(乳がん検診が実施できる施設の拡充、検診車の活用等を考慮する。) ・対象者に対して行っている受診案内等の個別通知を充実させる。	・乳がん検診実施に対する補助金。	○		○	○	○	○	○	○	93	6.3%	未滿						
3				○	○	○	○		○	○	529	14.9%	高い	347	4.1%	未滿			
4				○	○	○				○	523	12.4%	高い						
5					○		○			○	306	13.2%	高い						
6	・22年度からは、40歳以上の隔年の女性に個別通知で受診勧奨を行う。			○	○	○	○		○	○	186	6.5%	未滿	16	4.0%	未滿			
7	・がん検診リーフレット・個別通知。 ・がんパネル展の開催。				○	○	○				269	12.9%	高い						
8			○	○	○	○	○			○	1,509	13.4%	高い						
9			○	○	○	○	○			○	290	6.9%	未滿	81	4.0%	未滿			
10					○	○	○		○		403	9.8%	未滿						

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(2)撮影精度管理			(3)読影精度管理		受診者への説明(区市町村実施)				受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級 別	検診機関別	仕様基準	第三者 外部評価	研修修了	研修修了	二重読影	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
1	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○	○	5/5	3/5	5/5	5/5	5/5					4/5	2/5	4/5	4/5
2	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。	○	○	○	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5					5/5	5/5	5/5	5/5
3	・該当なし	○	○		5/5	5/5	5/5	5/5	5/5					5/5	3/5	5/5	5/5
4	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○		5/5	3/5	5/5	5/5	4/5					5/5	4/5	4/5	4/5
5	・陽性反応適中度が低い医療機関がある。	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
6	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○	2/3	2/3	2/3	2/3	2/3	○				2/3	1/3	2/3	2/3
7	・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	5/5	4/5	5/5	5/5	5/5	○	○			4/5	4/5	4/5	4/5
8	・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	5/5	2/5	5/5	5/5	5/5					4/5	5/5	4/5	4/5
9	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	4/4	2/4	4/4	4/4	4/4					4/4	3/4	4/4	3/4
10	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	5/5	2/5	5/5	5/5	5/5					4/5	5/5	5/5	4/5

区市町村 (No)	6 陽性反応適中度 (マンモ+視触診)		6 陽性反応適中度 (視触診のみ)		6 陽性反応適中度 (エコー+視触診)		分 析	集計作業 (陽性反応適中度)					課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	検診方法別				
1	1.62%	未満					・精検受診率が低い。						・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上			
2	2.15%	未満					・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。		○	○			・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握			
3	0.95%	未満	3.75%	以上			・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。		○			○	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上			
4	1.53%	未満					・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、 項目が満たされていない医療機関(検査 委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。						・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			
5	0.65%	未満					・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。					○	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握			
6	3.76%	以上	不明	不明					○	○	○		・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握		・1機関未回収	
7	5.58%	以上							○	○	○		・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明			
8	3.64%	以上							○	○	○	○	・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明			
9	6.21%	以上	4.94%	以上								○	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			
10	6.95%	以上								○	○		・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明			

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象										2 受診率(マンモ+視触診)						
	隔年	毎年	マンモ+視触診	対象	マンモのみ	対象	視触診のみ	対象	エコー+視触診	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較
11	○		○	40歳以上 偶数年齢女性									146,082	6,932	6,545	0	13,477	9.2%	未満
12	○		○	40歳以上 偶数年齢女性									181,914	9,539	8,749	0	18,288	10.1%	未満
13	○ マンモ + 視触診	○ 視触診 のみ	○	40歳以上女性 隔年			○	40歳以上女性					46,919	2,894	2,670	86	5,478	11.7%	未満
14	○		○	40歳以上 奇数年齢女性 (新規申込者は40歳 以上の偶数年令でも 受診可能)									64,443	6,309	5,447	260	11,496	17.8%	以上
15	○		○	40歳以上女性 隔年									112,658	7,561	7,688	0	15,249	13.5%	未満
16	○			40歳以上 隔年 マンモグラフィーは 希望者									54,044	2,842	2,684	0	5,526	10.2%	未満
17	○		○	40歳以上女性 前年度未受診者									76,611	2,969	3,013	0	5,982	7.8%	未満
18	○		○	40歳以上 偶数年齢女性									44,007	4,564	4,655	0	9,219	20.9%	以上
19	○		○	40歳以上 偶数年齢女性									112,312	5,660	5,290	0	10,950	9.7%	未満
20	○		○	40歳以上女性 前年度未受診者									145,620	8,358	10,126	0	18,484	12.7%	未満

区市町村 (No)	2 受診率(視触診のみ)							2 受診率(エコー+視触診)							分析	対策1	
	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
11															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・該当者全員に個別通知実施。 ・21年度は奇数年齢者に対しても一部自己負担による受診を可として実施。	
12															・不明		
13	46,919	0	1,110	0	1,110	2.4%	未滿								・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・22年度より申込み方式から受診券発送方式へ変更予定。22年度は全対象者へ送付予定。	
14																	
15															・受診率は上がっている。	・40歳の区民に個別勧奨を行う。 ・定期的な検診の必要性や実施日程等を区の広報誌・ホームページなどにより周知。	
16															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・広報等で受診率の低い集団へ勧奨する。	・各市区町村の受診率向上対策について補助する。
17															・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない		
18																	
19															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・現在、マンモグラフィの実施医療機関が1ヵ所のため受入数に限りがある。21年度10月から2ヶ所で開催する。	
20															・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		

区市町村 (No)	対策2		(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)						3 要精検率 (マンモ+視触診)			3 要精検率 (視触診のみ)			3 要精検率 (エコー+視触診)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	年齢階級 別	受診者別 データ	検診機関 別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記 録	2年連続受 診者の集 計	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較
11					○		○				1,115	17.0%	高い						
12			○		○	○			○		652	7.5%	未滿						
13			○		○	○	○		○	○	275	10.3%	未滿	53	4.8%	未滿			
14					○	○	○		○	○	473	8.7%	未滿						
15			○		○	○	○			○	646	8.4%	未滿						
16					○						261	9.7%	未滿						
17	・ピンクリボンキャンペーンを北区独自で実施、自己検査グローブ等で自己チェックをPRしている。	・財政援助、検診のPRをお願いします。		○	○	○	○	○	○	○	508	16.9%	高い						
18			○	○	○	○	○		○		592	12.7%	高い						
19					○		○				741	14.0%	高い						
20	・区が実施する健康診査の対象となる(30歳代、40歳以上)全区民に対して、がん検診の案内を同封している。区が実施する健康診査の対象とならない人には、誕生日により3回に分けて案内を送付している。				○		○				1,448	14.3%	高い						

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(2)撮影精度管理			(3)読影精度管理		受診者への説明(区市町村実施)				受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級 別	検診機関別	仕様基準	第三者 外部評価	研修修了	研修修了	二重読影	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
11	・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	5/5	3/5	5/5	5/5	5/5					5/5	4/5	5/5	5/5
12	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○		5/5	3/5	5/5	5/5	5/5	○	○			5/5	4/5	3/5	4/5
13	・各がんの有病率の低い年齢級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。	○	○	○	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5		○		○	5/5	5/5	5/5	4/5
14	・各がんの有病率の低い年齢級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	3/3	1/3	3/3	4/4	4/4	○	○		○	1/1	1/1	1/1	1/1
15	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	5/5	4/5	5/5	5/5	5/5	○	○	○	○	5/5	4/5	5/5	5/5
16	・各がんの有病率の低い年齢級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○				1/1	1/1	1/1	1/1
17	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○			5/5	2/5	5/5	5/5	5/5					5/5	5/5	5/5	5/5
18	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		○	1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	○				
19	・各がんの有病率の高い年齢級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					4/5	4/5	5/5	3/5
20	・各がんの有病率の高い年齢級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	0/1	0/1	0/1

区市町村 (No)	4 精検受診率(マンモ+視触診)				4 精検受診率(視触診のみ)				4 精検受診率(エコー+視触診)				分 析	対策1	
	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診 率	全国 比較	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診 率	全国 比較	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診 率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望
11	48	52	91.0%	以上											
12	22	439	29.3%	未満									・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・引き続き報告の内容等を考慮し、帳票の見直しを行っていく。	
13	0	97	64.7%	未満	0	21	60.4%	未満					・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。 ・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・要精密者で二次検診結果の通知がない場合には、電話や文書により追跡調査を行いたい。	
14	49	0	89.6%	以上											
15	0	260	59.8%	未満									・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・結果通知がないものは各医療機関あて調査中。	
16	5	110	55.9%	未満									・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・医師会に更なる協力を依頼する。	
17	0	107	78.9%	未満									・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。 ・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。		
18	198	0	66.6%	未満									・特になし		
19	9	187	73.5%	未満									・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・受診の把握ができない者に問い合わせ勧奨する。	・医療機関からの情報提供を義務化する等の体制整備。
20	362	0	75.0%	未満									・精検未受診者の多い集団の特性が明らかになっていない。		

区市町村 (No)	対策2		対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)		
	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診 率 把握	年齢階級 別	検診機関別	精検 未受診率 把握	年齢階級 別	検診機関 別	受診勧奨	未把握率 把握	年齢階級 別	検診機関 別
11			・特になし	○	○	○	○	○	○		○	○	○
12				○	○		○	○			○	○	
13				○	○	○	○	○	○		○	○	○
14			・一次検診時に精密検査受診予定機関を把握し、精密検査が必要になった場合、フィルム等を精密検査予定機関へ送付するとともに、該当者へは結果通知を送付し、受診勧奨に努めている。また、未受診者には受診勧奨通知を送付し、受診を促している。	○	○		○	○		○	○	○	
15				○	○	○	○	○	○		○		○
16				○									
17				○	○	○					○	○	○
18	・特になし	・特になし		○		○				○			
19				○						○			
20	・受診率の向上対策に取り組んでいるため、精検結果把握の具体的対策まで手が回っていない。			○	○	○							

区市町村 (No)	6 陽性反応適中度 (マンモ+視触診)		6 陽性反応適中度 (視触診のみ)		6 陽性反応適中度 (エコー+視触診)		分 析	集計作業 (陽性反応適中度)					課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	検診方法別				
11	3.41%	以上						○	○	○			・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明			
12	1.38%	未満					・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。		○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			
13	1.09%	未満	3.77%	以上			・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・精検受診率が低い。		○	○	○	○	・検診方法の検討 ・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握 ・受診者特性の検討			
14	2.96%	以上						○	○			○	・検診機関精度管理の検討			
15	3.72%	以上						○	○	○			・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討	・精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない		
16	2.30%	未満					・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○	○	○			・検診方法の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上	・精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない		
17	2.17%	未満					・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○	○	○	○	○	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討	・精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない		
18	2.53%	以上											・検診機関精度管理の検討 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上			
19	2.56%	以上											・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			
20	2.83%	以上							○	○			・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上			

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象										2 受診率(マンモ+視触診)						
	隔年	毎年	マンモ+視触診	対象	マンモのみ	対象	視触診のみ	対象	エコー+視触診	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較
21	○		○	40歳以上女性 原則として偶数年齢									141,204	4,443	6,403	509	10,337	7.3%	未滿
22	○		○	40～68歳 偶数年齢女性			○	30～39歳 及び 70歳以上の女性 隔年					96,467	4,488	4,051	0	8,539	8.9%	未滿
23		○							○	30歳以上女性 毎年									
24	○ マンモ + 視触診	○ 視触診 のみ	○	40歳以上 2年に1度			○	30歳以上 毎年					98,965	6,626	6,032	0	12,658	12.8%	未滿
25	○		○	40歳以上女性 前年度未受診者									31,422	1,882	2,341	0	4,223	13.4%	未滿
26	○		○	40歳以上 偶数年齢			○	40歳以上 奇数年齢					25,089	2,546	2,513	0	5,059	20.2%	以上
27	○		○	30歳以上 隔年 (本人が検査方法 を選択)					○	30歳以上 隔年 (本人が検査 方法を選択)			30,947	2,071	1,618	0	3,689	11.9%	未滿
28	○		○	40歳以上 前年度未受診者									26,412	1,349	1,630	0	2,979	11.3%	未滿
29	○		○	40歳以上女性 隔年									41,573	3,274	3,445	0	6,719	16.2%	以上
30	○		○	40歳以上 偶数年齢女性									20,727	760	900	0	1,660	8.0%	未滿

区市町村 (No)	2 受診率(視触診のみ)							2 受診率(エコー+視触診)							分析	対策1	
	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
21															・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
22	96,467	497	512	0	1,009	1.0%	未滿								・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
23								128,710	11,707	14,054	5,196	20,565	16.0%	以上			
24	98,965	8,933	9,620	10,710	7,843	7.9%	未滿								・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。		
25															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・50歳代の受診率が低く、広報や他の検診時における乳がん検診のPR等を実施。	
26	25,089	640	577	0	1,217	4.9%	未滿										
27								30,947	512	370	0	882	2.9%	未滿	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・健康づくり推進事業で勧奨する。 ・幼稚園、小中学校等で普及啓発。	
28															・地域別に、受診率が低い地域がある。	・具体的対策無。	
29																	
30															・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		

区市町村 (No)	対策2		(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)						3 要精検率 (マンモ+視触診)			3 要精検率 (視触診のみ)			3 要精検率 (エコー+視触診)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	年齢階級 別	受診者別 データ	検診機関 別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記 録	2年連続受 診者の集 計	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較
21	・40・46歳(年度末年齢)及び前回受診者に対し受診勧奨通知を発送。		○	○	○	○	○	○	○	○	593	9.3%	未満						
22				○	○	○				○	178	4.4%	未満	7	1.4%	未満			
23				○	○	○	○			○							1,205	8.6%	未満
24					○	○	○			○	429	7.1%	未満	263	2.7%	未満			
25					○	○	○			○	193	8.2%	未満						
26			○	○	○	○		○		○	344	13.7%	高い	11	1.9%	未満			
27					○	○	○	○		○	168	10.4%	未満				29	7.8%	未満
28					○	○	○	○		○	153	9.4%	未満						
29			○	○	○	○	○	○		○	87	2.5%	未満						
30	・予算の増額要求を継続的に実施。				○	○	○			○	40	4.4%	未満						

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(2)撮影精度管理			(3)読影精度管理		受診者への説明(区市町村実施)				受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級 別	検診機関別	仕様基準	第三者 外部評価	研修修了	研修修了	二重読影	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
21	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○		5/5	3/5	5/5	5/5	5/5					4/5	4/5	3/5	3/5
22	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○		2/2	2/2	2/2	5/5	5/5					5/5	5/5	5/5	5/5
23	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い	○	○	○										1/1	1/1	1/1	1/1
24	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	5/5	4/5	5/5	5/5	5/5					5/5	5/5	5/5	5/5
25	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	5/5	4/5	5/5	5/5	5/5					5/5	4/5	5/5	4/5
26	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○				1/1	1/1	1/1	1/1
27	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	4/4	1/4	4/4	4/4	4/4					3/4	3/4	3/4	3/4
28	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	3/3	1/3	3/3	3/3	3/3					2/3	3/3	3/3	3/3
29	・該当なし	○	○	○	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	○	○	○		2/2	2/2	2/2	2/2
30	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	○				

区市町村 (No)	対策2		対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)		
	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診 率 把握	年齢階級 別	検診機関別	精検 未受診率 把握	年齢階級 別	検診機関 別	受診勧奨	未把握率 把握	年齢階級 別	検診機関 別
21				○	○		○	○			○	○	
22				○	○				○				
23	・精検未受診者に対する積極的な勧奨。			○	○	○	○	○	○		○	○	○
24				○	○	○			○		○	○	○
25		・医療機関から二次検査の診察依頼書を返信用封筒 で送付してもらうことに加え、受診者本人へのアン ケートを実施している。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26				○	○		○	○			○		
27				○	○	○	○	○	○		○		○
28				○	○	○	○	○	○		○	○	○
29			・精密検査結果を医療機関から市へ報告。 ・一次検査結果を送付する際に精検結果を記入して もらうアンケートを送付、返信ない場合には電話で状 況確認。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30			・視触診時に医師が直接受診勧奨を行っている。	○	○	○					○		○

区市町村 (No)	5 がん発見率(マンモ+視触診)			5 がん発見率(視触診のみ)			5 がん発見率(エコー+視触診)			分析	集計作業(がん発見率)					集計作業(早期がん割合)			
	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率 把握	年齢階級 別	検診機関 別	受診歴別	検診方法 別	年齢階級 別	検診機関 別	受診歴別	検診方法 別
21	20	0.31%	以上								○	○			○				
22	9	0.22%	未滿	0	0.00%	未滿				・精検受診率が許容値と比較して低い。	○								
23							66	0.47%	以上		○	○	○		○				
24	24	0.40%	以上	8	0.08%	未滿					○	○	○		○			○	
25	7	0.30%	以上								○	○	○		○				
26	6	0.24%	以上	0	0.00%	未滿					○	○			○				
27	1	0.06%	未滿				0	0.00%	未滿	・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○	○		○				
28	8	0.49%	以上								○	○	○	○					
29	22	0.64%	以上								○	○	○	○	○	○	○		
30	2	0.22%	未滿							・該当なし	○	○	○						

区市町村 (No)	6 陽性反応適中度 (マンモ+視触診)		6 陽性反応適中度 (視触診のみ)		6 陽性反応適中度 (エコー+視触診)		分 析	集計作業 (陽性反応適中度)					課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)	
	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	検診方法別					
21	3.37%	以上							○					・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明	・精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない		
22	5.06%	以上	0.00%	未滿										・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握 ・受診者特性の検討			
23					5.48%	以上			○	○	○		○	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上			
24	5.59%	以上	3.04%	以上					○	○	○		○	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
25	3.63%	以上							○	○	○		○	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明			
26	1.74%	未滿	0.00%	未滿			・精検受診率が低い。							・検診方法の検討 ・要精検受診結果の把握			
27	0.60%	未滿			0.00%	未滿	・がん発見率が低い。 ・各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。 ・精検受診率が低い。		○	○	○		○	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明	・精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない		
28	5.23%	以上							○	○	○		○	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明			
29	25.29%	以上							○	○	○		○				
30	5.00%	以上												・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・受診者特性の検討			

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象										2 受診率(マンモ+視触診)						
	隔年	毎年	マンモ+視触診	対象	マンモのみ	対象	視触診のみ	対象	エコー+視触診	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較
31	○		○	40歳以上女性 隔年									37,974	2,321	2,098	4	4,415	11.6%	未滿
32	○		○	40歳以上70歳以下 偶数年齢女性									76,750	3,012	2,845	0	5,857	7.6%	未滿
33	○ マンモ + 視触診	○ 視触診 のみ (25~39歳)	○	40歳以上女性 前年度未受診者			○	25~39歳女性 毎年					20,245	1,433	1,765	22	3,176	15.7%	以上
34	○		○	40歳以上女性 隔年									32,657	1,791	2,190	0	3,981	12.2%	未滿
35	○		○	40歳以上女性 隔年									31,281	2,903	2,363	626	4,640	14.8%	以上
36	○		○	40歳以上女性 隔年									27,971	1,339	1,448	0	2,787	10.0%	未滿
37	○ マンモ + 視触診	○ 視触診 のみ	○	40歳以上女性 偶数年齢			○	30歳以上女性 毎年					18,471	1,052	1,417	8	2,461	13.3%	未滿
38	○		○	40歳以上女性 隔年									13,503	419	478	0	897	6.6%	未滿
39	○		○	40歳以上の市民 隔年									11,120	604	571	0	1,175	10.6%	未滿
40	○		○	40歳以上女性 隔年									14,140	690	922	0	1,612	11.4%	未滿

区市町村 (No)	2 受診率(視触診のみ)							2 受診率(エコー+視触診)							分析	対策1	
	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
31															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・乳がんのお知らせチラシを年2回に増やすよう検討する。	検診委託可能な医療機関を増やす。
32															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・30歳の節目年齢者へがん検診のご案内を個別通知する予定。	・ポスターや広報の充実。 ・がん検診についての補助金。
33																	
34															・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
35																	
36															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・20年度は世帯に保健事業一覧表を配布。21年度、健康ガイドと改訂し、がん検診事業の情報の伝え方を工夫する。窓口・ちらし等で受診勧奨を実施。 ・20年度婦人がんセット検診を導入。 ・21年度受診勧奨事業を実施予定。 ・20年度から乳がん検診車を導入、受けやすい体制づくりの整備。 ・20年度から乳がん普及啓発「ピンクリボンキャンペーン」を実施。21年度も継続。	・22年度も都と保健所と協同でキャンペーンを実施希望。 ・21年度同様、包括補助事業のご指導よろしくお願ひします。
37	18,471	698	421	51	1,068	5.8%	未滿								・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
38															・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。 ・定員が決まっている。		
39															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。 ・地域別に、受診率が低い地域がある。		
40															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・広報などによるPRの工夫。 ・定員増の検討。 ・メッセージキルトによるPR。	

区市町村 (No)	対策2		(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)						3 要精検率 (マンモ+視触診)			3 要精検率 (視触診のみ)			3 要精検率 (エコー+視触診)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	年齢階級 別	受診者別 データ	検診機関 別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記 録	2年連続受 診者の集 計	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較
31					○	○	○	○	○	○	238	11.3%	高い						
32					○	○		○	○		213	7.5%	未満						
33					○	○	○	○			89	5.0%	未満						
34	・検診医療機関の拡充を検討する。			○	○	○	○			○	211	9.6%	未満						
35			○		○		○			○	122	5.2%	未満						
36			○	○	○	○	○	○	○	○	115	7.9%	未満						
37	・受診枠拡大のための医師会等との協議。	・希望者数が医療機関のキャパシティを超えている。財政面の補助よりも、実施医療機関を増やして欲しい。			○	○	○			○	154	10.9%	未満	22	5.2%	未満			
38	・検討中			○	○	○	○			○	15	3.1%	未満						
39				○		○	○			○	100	17.5%	高い						
40					○	○	○			○	45	4.9%	未満						

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(2)撮影精度管理			(3)読影精度管理		受診者への説明(区市町村実施)				受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級 別	検診機関別	仕様基準	第三者 外部評価	研修修了	研修修了	二重読影	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
31	・がん発見率が高い。	○		○	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3	○	○		○	3/3	2/3	3/3	2/3
32	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○			2/2	0/2	2/2	2/2	2/2					2/2	2/2	1/2	1/2
33	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○		2/2	2/2	2/2	2/2	2/2					2/2	2/2	2/2	2/2
34	・該当なし	○	○	○	3/3	3/3	3/3	3/3	3/3				○	3/3	3/3	3/3	3/3
35	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	5/5	1/5	3/5	5/5	2/5					2/5	4/5	5/5	2/5
36	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	4/5	2/5	4/5	4/5	4/5	○	○	○	○	4/5	4/5	4/5	4/5
37	・該当なし	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
38	・該当なし	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○		○	1/1	1/1	1/1	1/1
39	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○			3/3	2/3	2/3	3/3	2/3					3/3	3/3	3/3	3/3
40	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○		1/1	0/1	1/1	1/1	1/1					3/4	4/4	4/4	3/4

区市町村 (No)	4 精検受診率(マンモ+視触診)				4 精検受診率(視触診のみ)				4 精検受診率(エコー+視触診)				分 析	対策1	
	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診 率	全国 比較	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診 率	全国 比較	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診 率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望
31	4	51	76.9%	未満									・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。 ・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・未把握者に対し、電話での追跡調査の強化。	・医療機関に東京都が精密検査結果の調査を実施して欲しい。
32	0	63	70.4%	未満									・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。 ・要精検者にアンケート送付しているが、返送がない場合がある。	・要精検者へ結果報告用のアンケートを送付。	
33	9	29	57.3%	未満									・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。 ・受診しない理由が明らかになっていない。		
34	0	12	94.3%	以上											
35	0	3	97.5%	以上											
36	4	0	96.5%	以上											
37	16	24	74.0%	未満	11	4	31.8%	未満					・精検未受診者の多い集団の特性が明らかになっていない。 ・受診しない理由が明らかになっていない。		
38	0	1	93.3%	以上											
39	1	28	71.0%	未満									・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・精検対象者に対するアンケートを実施し、結果について返送してもらい、把握を試みる。返送されなかった方に対し電話フォローしていく。	・東京都での受診医療機関の統一。 (都で契約)
40	0	40	11.1%	未満									・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・電話や文書による把握方法の検討。	

区市町村 (No)	対策2		対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)		
	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診 率 把握	年齢階級 別	検診機関別	精検 未受診率 把握	年齢階級 別	検診機関 別	受診勧奨	未把握率 把握	年齢階級 別	検診機関 別
31				○	○		○	○	○	○	○	○	○
32				○									
33				○	○		○	○					
34			・精密検査の助成金を出しており、それを請求する時に結果を把握できる。	○	○		○			○			
35			・精検医療機関から結果を報告してもらう。 ・未受診者には保健師から電話連絡をする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36			・一次検査の医療機関から、直接結果説明を行い精密検査を実施し、精検結果は文書で市へ報告をもらう。(一部施設のみ契約)また、市が文書・電話による追跡をする。他の医療機関で精密受診した場合は、市が本人へ追跡し把握する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	・追跡調査を行う。			○	○	○	○	○	○		○	○	○
38			・個別電話勧奨。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39				○						○			
40				○	○		○	○			○	○	

区市町村 (No)	5 がん発見率(マンモ+視触診)			5 がん発見率(視触診のみ)			5 がん発見率(エコー+視触診)			分析	集計作業(がん発見率)					集計作業(早期がん割合)			
	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率 把握	年齢階級 別	検診機関 別	受診歴別	検診方法 別	年齢階級 別	検診機関 別	受診歴別	検診方法 別
31	12	0.57%	以上								○	○	○						
32	8	0.28%	以上								○								
33	8	0.45%	以上								○	○							
34	8	0.37%	以上								○	○							
35	13	0.55%	以上								○	○	○						
36	5	0.35%	以上								○	○	○	○	○	○	○	○	
37	6	0.42%	以上	0	0.00%	未満					○	○	○	○					
38	2	0.42%	以上								○	○	○	○					
39	11	1.93%	以上								○								
40	0	0.00%	未満								○	○							

・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。
・精検受診率が許容値と比較して低い。

区市町村 (No)	6 陽性反応適中度 (マンモ+視触診)		6 陽性反応適中度 (視触診のみ)		6 陽性反応適中度 (エコー+視触診)		分析	集計作業 (陽性反応適中度)					課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)	
	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	検診方法別					
31	5.04%	以上							○	○	○			・がん検診の必要性周知と受診率の向上	・精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない		
32	3.76%	以上												・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			
33	8.99%	以上												・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・要精検受診結果の把握			
34	3.79%	以上							○					・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
35	10.66%	以上							○	○	○			・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明			
36	4.35%	以上							○	○	○	○	○	・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討	・1機関未回収		
37	3.90%	以上	0.00%	未滿									○	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握			
38	13.33%	以上												・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
39	11.00%	以上												・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・要精検受診結果の把握			
40	0.00%	未滿					・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。							・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象										2 受診率(マンモ+視触診)						
	隔年	毎年	マンモ+視触診	対象	マンモのみ	対象	視触診のみ	対象	エコー+視触診	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較
41	○		○	40歳以上女性 隔年									15,053	452	463	0	915	6.1%	未滿
42	○		○	40歳以上女性 隔年									14,165	539	636	0	1,175	8.3%	未滿
43	○		○	40歳以上 前年度未受診者									22,606	1,271	1,055	0	2,326	10.3%	未滿
44	○		○	40歳以上女性 隔年									12,366	934	942	0	1,876	15.2%	以上
45	○		○	40歳以上 偶数年齢または 前年度未受診者									26,827	1,637	1,652	0	3,289	12.3%	未滿
46	○		○	40歳以上女性 隔年									13,777	817	947	15	1,749	12.7%	未滿
47	○		○	40歳以上女性 隔年									10,023	527	517	0	1,044	10.4%	未滿
48	○		○	30歳以上女性 前年度受診者を除く									15,188	1,274	2,512	0	3,786	24.9%	以上
49	○		○	40歳以上 年度末年齢が偶数 の女性									35,830	3,405	3,503	0	6,908	19.3%	以上
50	○		○	40歳以上女性 前年度未受診者									6,018	249	294	0	543	9.0%	未滿

区市町村 (No)	2 受診率(視触診のみ)							2 受診率(エコー+視触診)							分析	対策1	
	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
41															・年齢階級、地域によって、受診率に 違いはない。		
42															・年齢階級、地域によって、受診率に 違いはない。		
43															・市に医療機関がない。	・健康増進計画で健康づくり推進員によるPR。 ・広報紙一面に掲載。 ・集団検診実施場所の増加。 ・胃がん等集団検診時にPR。 ・女性の健康づくり事業でPR。 ・広報で現状の知識普及と受診勧奨PR。	・医療機関が少なく、受診者数の増加が難し い。30代からの問い合わせが多いです。
44																	
45															・定員制の集団検診として実施。		
46															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級 がある。	・なし	
47															・年齢階級、地域によって、受診率に 違いはない。		
48																	
49																	
50															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級 がある。	・定員の増加。	

区市町村 (No)	対策2		(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)						3 要精検率 (マンモ+視触診)			3 要精検率 (視触診のみ)			3 要精検率 (エコー+視触診)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	年齢階級 別	受診者別 データ	検診機関 別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記 録	2年連続受 診者の集 計	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較
41	・定員増に伴う予算の確保。	・受診啓発普及について包括補助事業を活用している。継続希望する。	○	○	○	○	○		○	○	64	13.8%	高い						
42	・検診期間の拡大。 ・対象枠の拡大。 ・節目年齢対象者への個別通知。 ・検診PR活動。	・検診の必要性等、国や都レベルでのPRに努めてもらいたい。		○	○	○	○				81	12.7%	高い						
43					○	○		○			56	5.3%	未滿						
44					○					○	55	5.8%	未滿						
45	・現在定員制の集団検診で実施。個別検診を考えている。		○	○	○	○	○		○		76	4.6%	未滿						
46				○	○	○	○	○	○	○	54	5.7%	未滿						
47	・広報、各種検診時やイベント、健康教育時でのPR、受診勧奨の強化。				○	○	○			○	106	20.5%	高い						
48				○	○		○			○	156	6.2%	未滿						
49					○	○	○		○	○	532	15.2%	高い						
50				○	○	○	○	○	○	○	164	13.4%	高い						

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(2)撮影精度管理			(3)読影精度管理		受診者への説明(区市町村実施)				受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級 別	検診機関別	仕様基準	第三者 外部評価	研修修了	研修修了	二重読影	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
41	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が多い。	○	○	○	1/1	0/1	1/1	1/1	0/1			○		0/1	0/1	0/1	0/1
42	・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	5/5	2/5	5/5	4/5	5/5	○				3/5	3/5	2/5	3/5
43	・がん発見率が低い。	○		○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
44	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。	○	○		2/2	2/2	2/2	2/2	2/2					2/2	2/2	2/2	1/2
45	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い	○		○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1
46	・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2					1/2	2/2	1/2	1/2
47	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1			○		1/1	1/1	1/1	1/1
48	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	3/3	2/3	3/3	3/3	3/3					3/3	3/3	3/3	3/3
49	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	3/3	2/3	3/3	3/3	3/3					3/3	2/3	2/3	2/3
50	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が多い。 ・がん発見率が高い。	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1

区市町村 (No)	5 がん発見率(マンモ+視触診)			5 がん発見率(視触診のみ)			5 がん発見率(エコー+視触診)			分 析	集計作業(がん発見率)					集計作業(早期がん割合)			
	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率 把握	年齢階級 別	検診機関 別	受診歴別	検診方法 別	年齢階級 別	検診機関 別	受診歴別	検診方法 別
41	0	0.00%	未満							・該当なし	○	○	○		○				
42	2	0.31%	以上								○	○							
43	0	0.00%	未満							・該当なし	○								
44	1	0.11%	未満							・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。	○	○			○				
45	8	0.48%	以上								○		○						
46	不明	不明	不明							・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検結果未把握のため。									
47	3	0.58%	以上								○	○	○						
48	10	0.40%	以上								○	○	○						
49	6	0.17%	未満							・精検受診率が許容値と比較して低い。	○				○				
50	7	0.57%	以上								○	○	○	○	○				

区市町村 (No)	6 陽性反応適中度 (マンモ+視触診)		6 陽性反応適中度 (視触診のみ)		6 陽性反応適中度 (エコー+視触診)		分析	集計作業 (陽性反応適中度)					課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	検診方法別				
41	0.00%	未満					・該当なし						・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明			
42	2.47%	未満					・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。		○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			
43	0.00%	未満					・がん発見率が低い。	○					・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・受診者特性の検討 ・検診機関の要精検判定基準の把握			
44	1.82%	未満					・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○	○			○	・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握 ・受診者特性の検討			
45	10.53%	以上										○	・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
46	不明	不明					・精検結果未把握のため。						・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握	・精検結果未把握		
47	2.83%	以上							○	○			・がん検診の必要性周知と受診率の向上			
48	6.41%	以上							○	○			・対象年齢の検討 ・検診機関精度管理の検討			
49	1.13%	未満					・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○				○	・一次検診受診時の説明 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上			
50	4.27%	以上							○	○		○	・がん検診の必要性周知と受診率の向上			1226

区市町村 (No)	実施期		1 検査方法及び対象										2 受診率(マンモ+視触診)						
	隔年	毎年	マンモ+視触診	対象	マンモのみ	対象	視触診のみ	対象	エコー+視触診	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較
51	○		○	40歳以上 偶数年齢者 (隔年)									3,395	367	348	未把握	715	21.1%	以上
52		○	○	20歳以上女性 毎年									720	107	159	57	209	29.0%	以上
53	○		○	40歳～70歳までの 女性 4月1日現在で 偶数年齢者									1,696	96	101	0	197	11.6%	未滿
54		○							○	30歳以上女性									
55		○							○	希望者住民全員 年齢制限なし									
56	○		○	年齢制限なし (隔年実施)									822	0	251	0	251	30.5%	以上
57		○							○	20歳以上 毎年									
58		○							○	30歳以上 毎年実施									
59		○					○	30歳以上女性 毎年											
60	○		○	40歳以上女性 隔年									2,192	0	125	0	125	5.7%	未滿

区市町村 (No)	2 受診率(視触診のみ)							2 受診率(エコー+視触診)							分析	対策1	
	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
51																	
52																・がん及びがん検診についての普及啓発活動をより積極的に実施し、都民の方々のがん検診に対する意識を高めてもらいたい。	
53															・受診定員に制限がある。 ・人口の高齢化。		
54								2,242	476	514	374	616	27.5%	以上			
55								65	34	32	21	45	69.2%	以上			
56																	
57								472	126	123	62	187	39.6%	以上			
58								737	135	170	未把握	305	41.4%	以上			
59	44	17	22	17	22	50.0%	以上										
60															・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・がん検診の趣旨普及に努める。	

区市町村 (No)	対策2		(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)						3 要精検率 (マンモ+視触診)			3 要精検率 (視触診のみ)			3 要精検率 (エコー+視触診)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診動員	年齢階級 別	受診者別 データ	検診機関 別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記 録	2年連続受 診者の集 計	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較
51				○	○		○				215	12.9%	高い						
52		・都内や東京都近郊の自治体にある検診実施機 関でならば、何処でもがん検診を受けられるよ うな制度を作っていたら、受診者の利便性が 高まると思われる。 ・がん検診の受診率向上に対する取り組みや、成 功・失敗事例などを研修会や講演会を通じて紹介 して欲しい。	○		○	○	○			○	○	37	10.5%	未滿					
53				○	○	○	○			○	○	20	4.4%	未滿					
54				○	○	○	○				○						42	1.8%	未滿
55																	7	4.4%	未滿
56					○							18	7.2%	未滿					
57																	13	2.3%	未滿
58			○	○													6	1.1%	未滿
59			○	○	○	○	○	○	○	○				4	4.4%	未滿			
60					○					○	○	6	4.8%	未滿					

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(2)撮影精度管理			(3)読影精度管理		受診者への説明(区市町村実施)				受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級 別	検診機関別	仕様基準	第三者 外部評価	研修修了	研修修了	二重読影	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
51	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	3/3	1/3	3/3	3/3	3/3					2/3	3/3	3/3	3/3
52	・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○			2/2	0/2	2/2	2/2	2/2	○				2/2	2/2	2/2	2/2
53	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。	○			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
54	・がん発見率が低い。	○	○	○						○	○	○	○				
55	・受診者数が少なく、1名の影響が大きいため。	○												1/1	0/1	1/1	0/1
56	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。	○	○		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
57	・該当なし	○												1/1	1/1	1/1	1/1
58	・該当なし	○		○										1/1	1/1	1/1	1/1
59	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○	○										1/1	1/1	1/1	1/1
60	・がん発見率が低い。	○	○		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					2/2	2/2	2/2	2/2

区市町村 (No)	6 陽性反応適中度 (マンモ+視触診)		6 陽性反応適中度 (視触診のみ)		6 陽性反応適中度 (エコー+視触診)		分析	集計作業 (陽性反応適中度)					課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	検診方法別				
51	0.93%	未満					・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、 項目が満たされていない医療機関(検査 委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○					・検診機関精度管理の検討 ・一次検診受診時の説明 ・2年連続受診者の集計	・精検受診把握の情報提供体 制はできていないが、報告時期ま でに情報が得られない ・2年連続受診者未把握		1672
52	0.00%	未満					・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、 項目が満たされていない医療機関(検査 委託機関)がある。	○					・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・検診機関精度管理の検討 ・受診者特性の検討			353
53	0.00%	未満					・初回受診者(過去3年以内に各がん検 診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。						・対象年齢の検討 ・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・要精検受診結果の把握			454
54					4.76%	以上							・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・要精検受診結果の把握			2276
55					14.29%	以上							・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・一次検診受診時の説明 ・要精検受診結果の把握			159
56	0.00%	未満					・精検受診率が低い。						・対象年齢の検討 ・精検未受診理由および受診結果の把握と精検 受診率の向上 ・受診者特性の検討 ・データの蓄積	・H20年度より、マンモ+視触診 へ変更(隔年実施) (データは過去1年分です)		—
57					0.00%	未満	・精検受診率が低い。						・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・要精検受診結果の把握			567
58					33.33%	以上							・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・精検未受診理由把握と精検受診率の向上 ・2年連続受診者の集計 ・データの蓄積	・2年連続受診者未把握 ・過去4年間分(H17・18・19・20 年度)の結果を集計		546 (4年間分受診者数)
59			25.00%	以上									・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討 ・要精検受診結果の把握			90
60	33.33%	以上							○				・がん検診の必要性周知と受診率の向上 ・データの蓄積	・H20年度より、マンモ+視触診 へ変更 (データは過去1年分です)		—

区市町村 (No)	2 受診率(視触診のみ)							2 受診率(エコー+視触診)							分析	対策1	
	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	前年度 受診者数	当該年度 受診者数	2年連続 受診者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
61								44	10	11	5	16	36.4%	以上			
62								333	214	197	150	261	78.4%	以上			

区市町村 (No)	対策2		(1)集計作業(検診対象者)		(2)集計作業(受診者の情報管理)						3 要精検率 (マンモ+視触診)			3 要精検率 (視触診のみ)			3 要精検率 (エコー+視触診)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	年齢階級 別	受診者別 データ	検診機関 別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記 録	2年連続受 診者の集 計	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較	当該年度 要精検者 数	要精検率	全国 比較
61			○			○											0	0.0%	未滿
62			○	○	○	○	○	○	○	○							48	5.3%	未滿

区市町村 (No)	分析	(1)集計作業(要精検率)			(2)撮影精度管理			(3)読影精度管理		受診者への説明(区市町村実施)				受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
		要精検率 把握	年齢階級 別	検診機関別	仕様基準	第三者 外部評価	研修修了	研修修了	二重読影	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診 の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
61	・受診者数が少ないため。	○		○										1/1	1/1	1/1	1/1
62	・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○	○										1/1	1/1	1/1	1/1

区市町村 (No)	4 精検受診率(マンモ+視触診)				4 精検受診率(視触診のみ)				4 精検受診率(エコー+視触診)				分 析	対策1	
	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診 率	全国 比較	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診 率	全国 比較	当該年度 精検 未受診者数	当該年度 精検結果 未把握者数	精検受診 率	全国 比較		精検結果把握の方法について 対策	都への要望
61									0	0	0.0%	未済	・要精検者が0人であった。		
62									0	0	100.0%	以上			

区市町村 (No)	対策2		対策3	集計作業(精検受診率)			集計作業(精検未受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)		
	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診 率 把握	年齢階級 別	検診機関別	精検 未受診率 把握	年齢階級 別	検診機関 別	受診勧奨	未把握率 把握	年齢階級 別	検診機関 別
61				○									
62			・検診機関が一機関のみである。	○	○	○	○	○	○				

区市町村 (No)	5 がん発見率(マンモ+視触診)			5 がん発見率(視触診のみ)			5 がん発見率(エコー+視触診)			分析	集計作業(がん発見率)					集計作業(早期がん割合)			
	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	当該年度 がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		がん発見 率 把握	年齢階級 別	検診機関 別	受診歴別	検診方法 別	年齢階級 別	検診機関 別	受診歴別	検診方法 別
61							0	0.00%	未済	対象者・受診者が極めて少ないため。	○								
62							11	1.21%	以上		○	○	○	○					

区市町村 (No)	6 陽性反応適中度 (マンモ+視触診)		6 陽性反応適中度 (視触診のみ)		6 陽性反応適中度 (エコー+視触診)		分 析	集計作業 (陽性反応適中度)					課題等	備考	備考(点検表)	備考 (町村 5年分受診者数)
	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較		陽性反応 適中度把握	年齢階級別	検診機関別	受診歴別	検診方法別				
61					0.00%	未済	・対象者・受診者・要精検者とも少ない。						・検診方法の検討 ・実施期間の検討 ・データの蓄積	・H19年度より、エコー+視触診 へ変更 (データは過去2年分です)		16 (2年間分受診者数)
62					22.92%	以上		○	○	○	○	○	・検診方法の検討 ・対象年齢の検討 ・実施期間の検討			907